

広報

なんたん


Vol.50

【特集】

南丹ものづくりの祭典

～国民文化祭・京都2011～

2011年12月
2012年1月号



広報 なんたん もくじ

② 【特集】南丹ものづくりの祭典 ～国民文化祭・京都2011～

⑨ 人・この道☆ひと筋

⑩ 財政状況を公表します！

⑭ 行政トピックス

・なんたんテレビ学舎
・「きらり・本のことば」
コンクール表彰式・記念講演 ほか

⑯ インフォメーション

・4号庁舎開設に伴う各フロアの変更

⑰ みんなで描こう協働のキャンパス

⑱ いきいき南丹

⑲ 人権の窓／環・境・市・民

⑳ 図書館へようこそ！／暮らしにホッと

㉑ ぶらりなんたん

㉒ みんなのひろば

・ひよし水の杜フェスタ
・第12回美山かやぶきの里
ワンデーマーチ ほか

㉔ ニュースダイジェスト

㉖ なんたんミュージアム／わが家のアイドル

今月の表紙

南丹ものづくりの祭典～国民文化祭・京都2011～で実施した「灯りの祭典」の様子。1つ1つの竹細工の中には、日本人が大昔から大切にしてきたろうそくの灯りがともされ、そのゆらゆらと表情を変える灯りが日本の原風景が残るかやぶきの里を幻想的に飾っていました。

南丹ものづくりの祭典

～国民文化祭・京都2011～

ものづくり文化にふれあう9日間

日本最大の文化祭典である国民文化祭が、京都府内一円を会場に開催され、盛況のうちに幕を閉じました。

南丹市では、「南丹ものづくりの祭典」として、ものづくりのまちの魅力を発信すべく、国民文化祭主催事業の美術展「工芸」の開催と、工房と里の秋めぐり「里の秋マップ」の作成をはじめ、数多くの自主イベント、連携・協働イベントを繰り広げました。



南丹市国際交流会館 南丹市立文化博物館周辺

10月29日(土)～11月6日(日)

◇主催事業◇

- 美術展「工芸」
10月29日～11月6日
- 工房と里の秋めぐり「里の秋マップ」

◇自主事業◇

- 「食の祭典」
10月29、30日
- 「灯りの祭典」
11月3日

◇連携・協働事業◇

- 京都工芸美術作家協会展
「南丹市巡回展示」
10月29日～11月6日
- 南丹工芸文化祭
10月29日～11月6日
・福祉施設で作成された商品の展示販売
・市民文化活動による作品展示
- 10月29日、30日
・町家ミュージアム
・まちなかスタンプラリー
・見てさわって遊べる展示
・ものづくり体験コーナー、
じゅくりコーナー
- 南丹美術工芸教育展
10月29日～11月6日
- 我が校のものづくり展
10月29日～11月6日
- 第1回全国えんぴつけずり大会
11月5日
- 伝統工芸オークション
11月6日
- 南丹工芸シンポジウム
11月6日
- 電気自動車乗車体験
10月30日



国民文化祭は、昭和61年から毎年各都道府県持ち回りで開催されてきました。
今年3月に東日本で発生した未曾有の大震災により国民生活全体が深刻な危機に直面している中で開催された今回は、文化を通じて互いが勇気と元気を持ち合い、と

もに前を向いて進まなければならないという強い思いが込められていました。
この思いを受け止め、市民の皆さんの参画をいただき、心温かい南丹市の「人」、豊かな大地で育まれた「もの」、そして、日本の原風景が残る「場所」を生かした「南丹市ならではの」イベントを開催し、市内外から11250人の参加者をお迎えすることができました。

◇写真◇
①園部吹奏楽団・園部高等学校・園部高等学校附属中学校吹奏楽部による合同演奏
②南丹ものづくりの祭典総合開会式・表彰式
③南丹美術工芸教育展
④おもてなし茶席
⑤第1回全国えんぴつけずり大会
⑥ものづくり体験コーナー
⑦我が校のものづくり展
⑧南丹美術工芸教育展
⑨南丹工芸シンポジウム
⑩美術展「工芸」
⑪灯りの祭典
⑫食の祭典
⑬伝統工芸オークション



美術展「工芸」

想いを技に「暮らしに息づく用の美」

10月29日(土)～11月6日(日)

南丹市立文化博物館



公募にもとづいて、陶芸やガラス、染織など9部門にわたる工芸作品が全国から寄せられ、審査により、入賞10点、奨励賞48点、入選46点の作品が選ばれました。

式典では、最優秀賞の文部科学大臣賞に輝いた古家喜義さん(香川県)をはじめ、10人の入賞者を表彰しました。

文化博物館を訪れた方々は、作品に込められた想いや優れた技法、暮らしに息づく工芸の素晴らしさなど工芸文化を堪能されました。



◆連携・協働事業◆

国民文化祭は、市民の皆さんをはじめ、市内福祉施設や小・中学校など、さまざまな個人、団体の皆さんの協力の下、開催することができました。

■京都工芸美術作家協会展

10月29日(土)～11月6日(日) 南丹市立文化博物館



京都を舞台に活躍されている工芸美術作家370人が所属する「京都工芸美術作家協会」の結成65周年記念の作品展示会が、国民文化祭に合わせ「南丹市巡回展」として開催されました。

「今日から明日へ」をテーマに行われ、重要無形文化財保持者(人間国宝)の作品を含む214点が並べられ、訪れた人々を魅了していました。

■京都丹波文化ジョイントプログラム2011



灯りの祭典

かやぶきの里からツナグ

11月20日 木

美山かやぶきの里

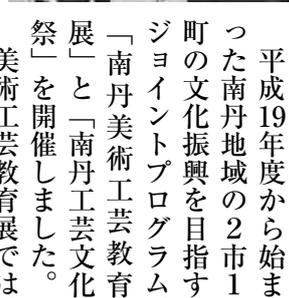
日本の原風景が残る美山かやぶきの里から文化の心で絆を結び、広げていくため、「灯りの祭典」を開催しました。

竹灯りの創作などで全国を回っている「ちかけん」が手掛けた大小約820基の竹灯りが、訪れた約1500人を灯りの世界へといざないました。そこには、子どもたちをはじめ市民の皆さんが心を込めて作製した作品が、迎り一面に並べられました。

「かわいい絵やね」「ここにいると不思議な感じがするね」そう話す家族連れの姿もありました。人の温かさを感じる「灯り」に照らされた幻想的なかやぶき民家の風景に、訪れた皆さんは、忘れかけていた日本文化の素晴らしさを再発見しつつ、心温まるひと時を過ごされました。



市民の皆さんから寄せられた作品は391点。その中で審査希望のあった235点の作品を、「美山かやぶきの里保存会」などが審査しました。



南丹市国際交流会館において南丹地域の保育所、幼稚園、小・中・高校生や、特別支援学校の皆さんの作品などを展示しました。(1) 工芸文化祭では、江戸時代の雰囲気を残す町家で市内工芸作家の皆さんの作品展示(2)を行いました。また、南丹市国際交流会館、園部公民館では、ものづくりの技を学べる体験コーナー(3)や、竹や紙を使ったアイデア作品が並び、子どもたちが見て触って遊べる展示(4)のほか、南丹市文化協会や女性の館の皆さんをはじめ市民の皆さんによる文化活動作品展示(5)、福祉施設の皆さんによる心温まる手づくり作品の展示・販売(7)が行われました。

平成19年度から始まった南丹地域の2市1町の文化振興を目指す「南丹美術工芸教育展」と「南丹工芸文化祭」を開催しました。

食の祭典

南丹市ならではのスペシャルグルメを堪能

10月29日(土)・30日(日)
南丹市国際交流会館周辺

豊かな自然に育まれた南丹市の里の幸を生かした「食」を、市内外の皆さんに知ってもらうため「食の祭典」を開催。
自慢の加工食品や、鹿肉など地元の食材を生かした料理を販売する多くの店が軒を連ね、訪れた方のお腹と幸せな気持ちを膨らませていました。
初日には、加工食品コンテストやお茶に合うレシビコンテストの表彰式を開催。地元の食材や、その持ち味を生かした優秀作品が表彰されました。
二日目の昼食時には、園部吹奏楽団や園部高等学校、園部高等学校附属中学校吹奏楽部による合同演奏会が催され、迫力ある演奏で会場を盛り上げてくれました。



加工食品コンテストでは、10作品の中から南丹彩クッキー(作…菓子工房みもぎ)が最優秀賞を受賞。受賞作品は、市の推奨ラベルを貼って一般に販売されています。
また、お茶に合うレシビコンテストの洋菓子部門では、日吉町胡麻で手に入る柿や黒豆など、素材にこだわったパウンドケーキ(作…芦田範子)が、また、和菓子部門では、市内で採れた栗やごまのプチプチ感を生かした団子(作…山崎真季)がそれぞれ最優秀賞を受賞。受賞作品は、まちかどカフェやおもてなし茶席で振る舞われま

■我が校のものがたり展

10月29日(土)～11月6日(日) 南丹市豊野遊センター



市内すべての小・中学校が、ものづくりの取り組みを発表。会場には、自然の素材を生かした作品や、実際に持って遊べる作品など、大小さまざまな977点が並びました。それぞれの作品の中に、児童や生徒のアイデアが盛り込まれており、ユニークな作品に思わず笑顔をこぼす方もおられました。

■子どもたちがデザインしたラッピングカー (電気自動車試乗体験)

10月30日(日) 南丹市国際交流会館駐車場



日産リーフ(電気自動車)を市の公用車として導入したことに伴い、側面のラッピングデザインを募集。市内各小・中学校、支援学校などから160点の個性豊かな作品が寄せられました。園部小学校5年の和田光結さんが最優秀賞。リーフは、「ものづくりのまち」や「環境にやさしいまち」をPRしながら、市内外を走っています。

工房と里の秋めぐり「里の秋マップ」

南丹市でしかできないことがある

市民の皆さんから寄せられた

宝

が盛り
だくさん!



南丹市の名所、スポットを紹介する里の秋めぐりマップ。「食」べる、「遊」ぶ、「見」る、「触」わるをテーマに赤、黄、青、緑に色分けされています。

マップの作成は、昨年度から企画委員会を立ち上げスタート。以降、ママさんリポーター、ミドルリポーター、学生リポーターなど約50人の市民リポーターが、約100カ所を取材しました。それぞれの立場で、さまざまな視点を取り入れ、南丹市のとっておきの名所、スポット206カ

所を集約しました。その他、市民の皆さんからも投稿を募りました。

マップは、リポーターの感想がそのまま使われているなど、とても温かみが伝わってくる内容となっています。

第1回全国えんぴつつけずり大会

11月5日(土) 南丹市国際交流会館



全国初となるえんぴつつけずり大会をNPO法人「京都匠塾」との協働事業として開催。東京など遠方からの参加者もあり、小学生の部と中学生以上の部、合わせて99人が参加。審査は、仕上りの美しさを競い合い、摩気小学校6年の山内梨恩さんが小学生の部の初代王者となりました。

伝統工芸オークション・南丹工芸シンポジウム

11月6日(日) 南丹市国際交流会館



NPO法人「京都匠塾」と協働で開催。オークションでは、若手工芸家の皆さんが、自身の傑作を堂々と紹介されていました。売り上げの一部は東日本大震災の被災地へ寄付されました。シンポジウムでは、「30年後のものづくり」をテーマに、活発な議論が行われていました。京都匠塾代表の高橋さんは「工芸職人も、つくるだけでなく積極的に活動することが必要」と語られました。

— 輝け もの・技・人 —

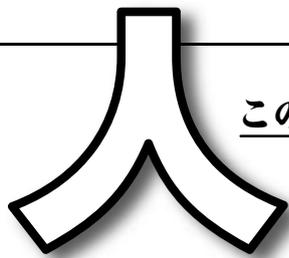
「ものづくりのまち」をみんなの力で



このたびの国民文化祭が市民の皆様のおかげで
ご尽力ご協力により成功裡に終了することが
出来ましたことに心から厚く御礼申し上げます。
工芸、そして農林水産業や各種の製造業など
南丹市が誇る「ものづくり」の連携により
「ものづくりのまち・南丹市」を目指し、
まちづくりを進めてまいりますので、市民の
皆様のお力添えを賜りますようお願いいたします
（します）。

市長

佐々木 稔 納



この道☆ひと筋

秋の叙勲受章者



「予防消防活動に尽力」

瑞宝単光章

瑞宝単光章
内藤 武さん (園部町・64)

昭和47年4月から平成9年3月まで、また平成11年4月から平成19年3月までの計33年間、消防団員として予防消

防を中心にして人命と財産を守る活動に尽力されました。とりわけ、平成11年4月からは園部町消防団副団長として、ま



「防火・人命救助に尽力」

危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章

瑞宝双光章
人見 日出男さん (八木町・68)

昭和40年4月から平成14年3月までの37年間、消防署員として火災の抑圧や人命救助に尽力されました。京都中部

広域消防組合が設立された昭和57年4月以降は、広大な面積となった管内において、的確な初動体制の整備と適切な

指揮命令に手腕を発揮。多くの人命と財産を守ってこられました。災害時応援協定という考え方が定着していなかった平成7年1月の阪神淡路大震災では、テレビ越しに流れてくる災害を目のあたりにして、助けに行きたくても行けないもどかしさに悩まれたそうです。

退職後は、再就職した福祉施設で防火意識を高める取り組みに尽力されるとともに、地域において防火・防災意識の高揚に寄与されました。

た合併後は南丹市消防団副団長兼園部支団長として陣頭指揮に当たられました。平成15年に行われた京都府知事表彰調査では、消防団幹部の一人として団をまとめ、「極めて優秀」という最高の評価に貢献されました。

退団後は、地域住民として消防団活動を支援するとともに、昨年の10月からは南丹市人権擁護委員として、人権尊重思想の普及高揚のほか、人権侵害による被害者の救済に寄与されています。

総務大臣表彰

公平委員会制度60周年記念

八田 敦子さん (八木町)

平成11年12月に八木町公平委員会委員に就任以来、合併後も引き続き南丹市公平委員会委員として、11年5カ月以上の長きにわたって職務に従事され、現在も職員の人事行政における公平・公正な運営に尽力されています。また、行政委員への女性登用の先駆者として、女性の立場を反映させる活動に対しても熱心に取り組まれており、これらの功績が認められ、10月28日、総務大臣表彰を受賞されました。



を公表します!

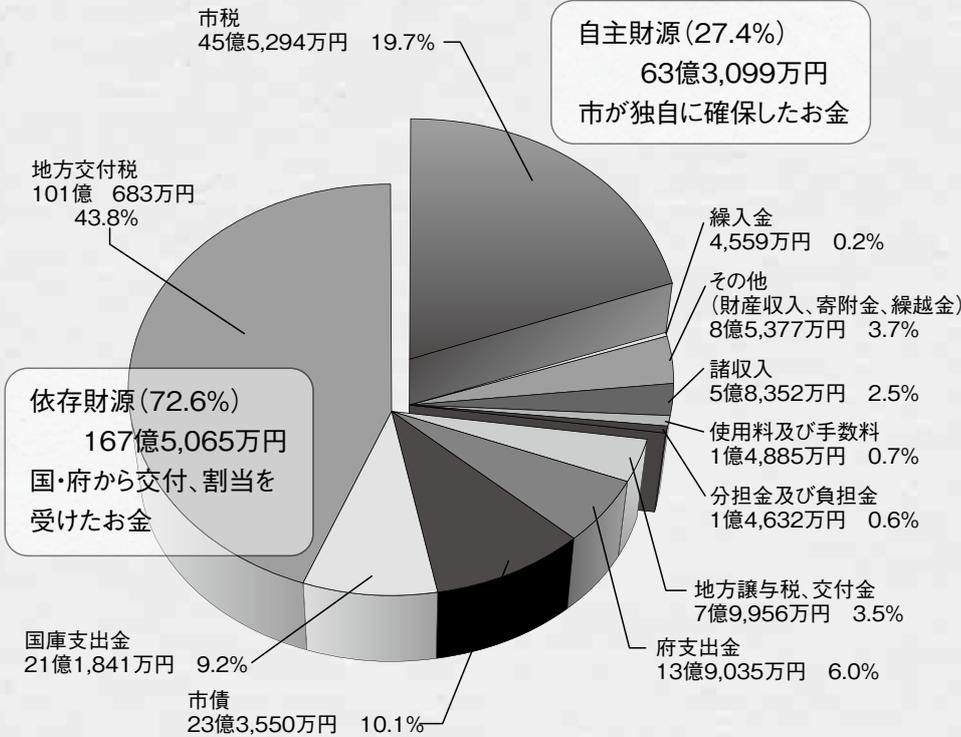
※単位未満四捨五入

皆さんの税金がどのように使われ、市の財政がどのような状況にあるのかを知っていただくため、年2回財政状況を公表しています。

今回は平成22年度(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)の決算状況と平成23年度上半期(平成23年4月1日から平成23年9月30日)までの予算執行状況をお知らせします。

平成22年度 決算

一般会計 歳入
230億8,164万円



○一般会計の決算
平成22年度の一般会計決算は、歳入総額230億8164万円、歳出総額221億6794万円となりました。歳入歳出差引額は9億1370万円です。このうち翌年度に繰り越すべき財源4億9754

万円を差し引いた実質収支額は4億1616万円の黒字決算となりました。南丹市では、今後も事務事業の見直しを積極的に行い、長期的に安定した健全な財政運営を目指します。

健全化判断比率	指標	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
	平成22年度	-	-	20.2%	167.3%
	早期健全化基準	12.78%	17.78%	25.0%	350.0%
	財政再生基準	20.00%	35.00%	35.0%	

※赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「-」としています。

資金不足比率	特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
	南丹市上水道事業会計	-	20.00%
	南丹市簡易水道事業特別会計	-	
	南丹市下水道事業特別会計	-	

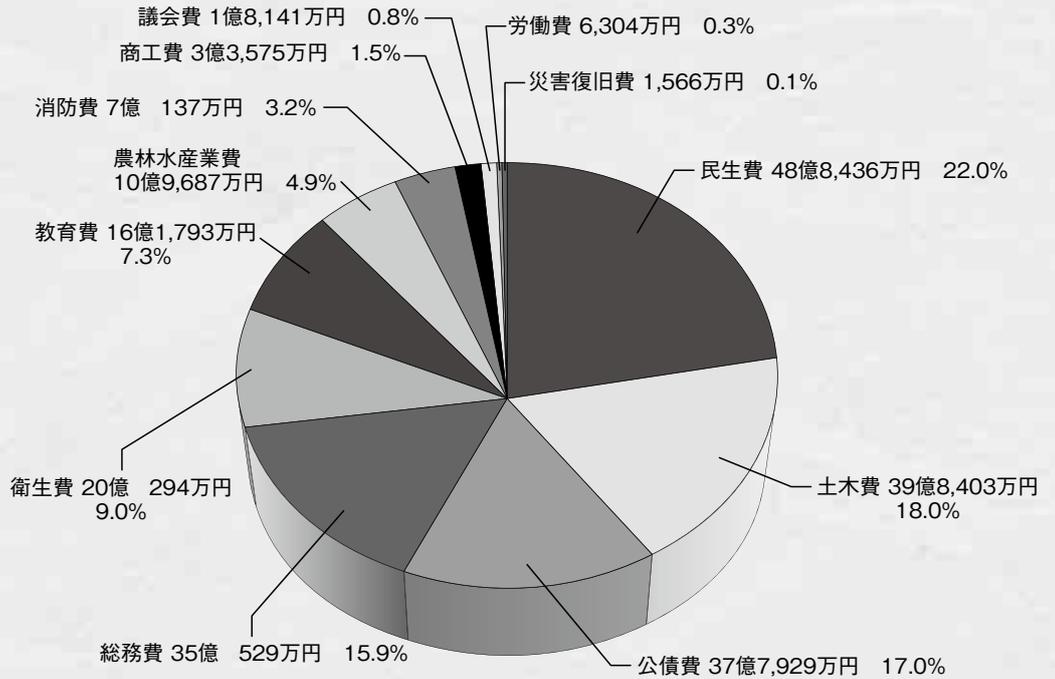
※資金不足額がないため、資金不足比率は「-」としています。

○財政健全化判断比率等
地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、地方公共団体は毎年度、決算に基づいて健全化判断比率などを算定し、監査委員会の審査に付した上で、その意見を付けて議会に報告するとともに、市民の皆さんに公表することとされています。

財政状況



一般会計 歳出
221億6,794万円



○特別会計の決算
特別会計とは、特別な事業を行うために一般会計と分けている会計のことです。国からの補助金などありますが、その経費は受益者（サービスを利用される方）が負担するのが原則です。
南丹市には8つの特別会計があ

り、それぞれの平成22年度の決算状況は右図のとおりです。
○企業会計の決算
企業会計とは、市が直営する企業の会計のことです。経営できる企業は、公共の利益を目的とするもので、特別に定められたものだ

特別会計

名称	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業	34億4,037万円	34億1,055万円	2,982万円
老人保健事業	2,283万円	2,283万円	0万円
介護保険事業	31億311万円	30億3,356万円	6,955万円
市営バス運行事業	4,503万円	4,343万円	160万円
簡易水道事業	7億3,053万円	6億9,624万円	3,429万円
下水道事業	29億911万円	28億5,271万円	5,640万円
土地取得事業	2億5,507万円	2億5,507万円	0万円
後期高齢者医療事業	4億2,472万円	4億1,968万円	504万円

企業会計

会計名	歳入	歳出	差引	
上水道事業	収益的	4億4,475万円	3億9,451万円	5,024万円
	資本的	3,348万円	1億9,837万円	▲1億6,489万円

南丹市は水道事業を企業会計としており、収益的収支5024万円の純利益（黒字）を計上することができました。
資本的収支では、1億6489万円の収入不足となりましたが、留保資金などで補てんしました。

平成23年度予算

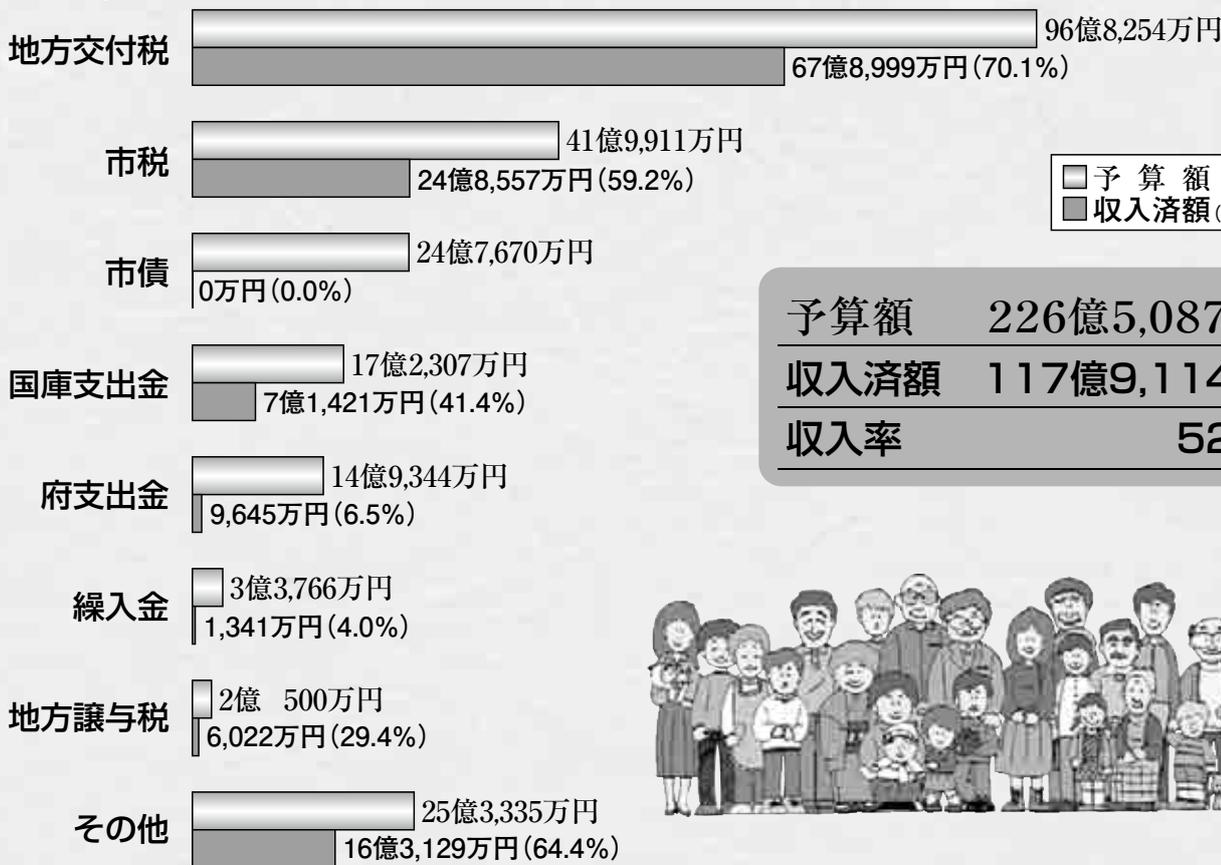
※平成23年9月30日現在

上半期歳入・歳出執行状況

※繰越予算額を含む。単位未満四捨五入

歳入

一般会計



□ 予算額
■ 収入済額 (収入率)

予算額 226億5,087万円
収入済額 117億9,114万円
収入率 52.1%



市の借入金 (市債)

小・中学校の校舎のように将来まで役立つ施設の建設費などを次世代の人々にも負担していただくという考えに基づき、借入れるものです。

借入現在高 576億1,422万円

一般会計 289億9,953万円
特別会計 268億8,850万円
企業会計 17億2,619万円

市民1人当たりの借入金 168万円

※うち地方交付税で補てんされる分(見込み)は約310億円(53.8%)で実質市民1人当たりの借入金は約77万円となります。

市民1人当たりに使われる市のお金

66万円

市民1人当たりが負担する税金(市税)

12万円

1世帯当たりに使われる市のお金

166万円

1世帯当たりが負担する税金(市税)

31万円

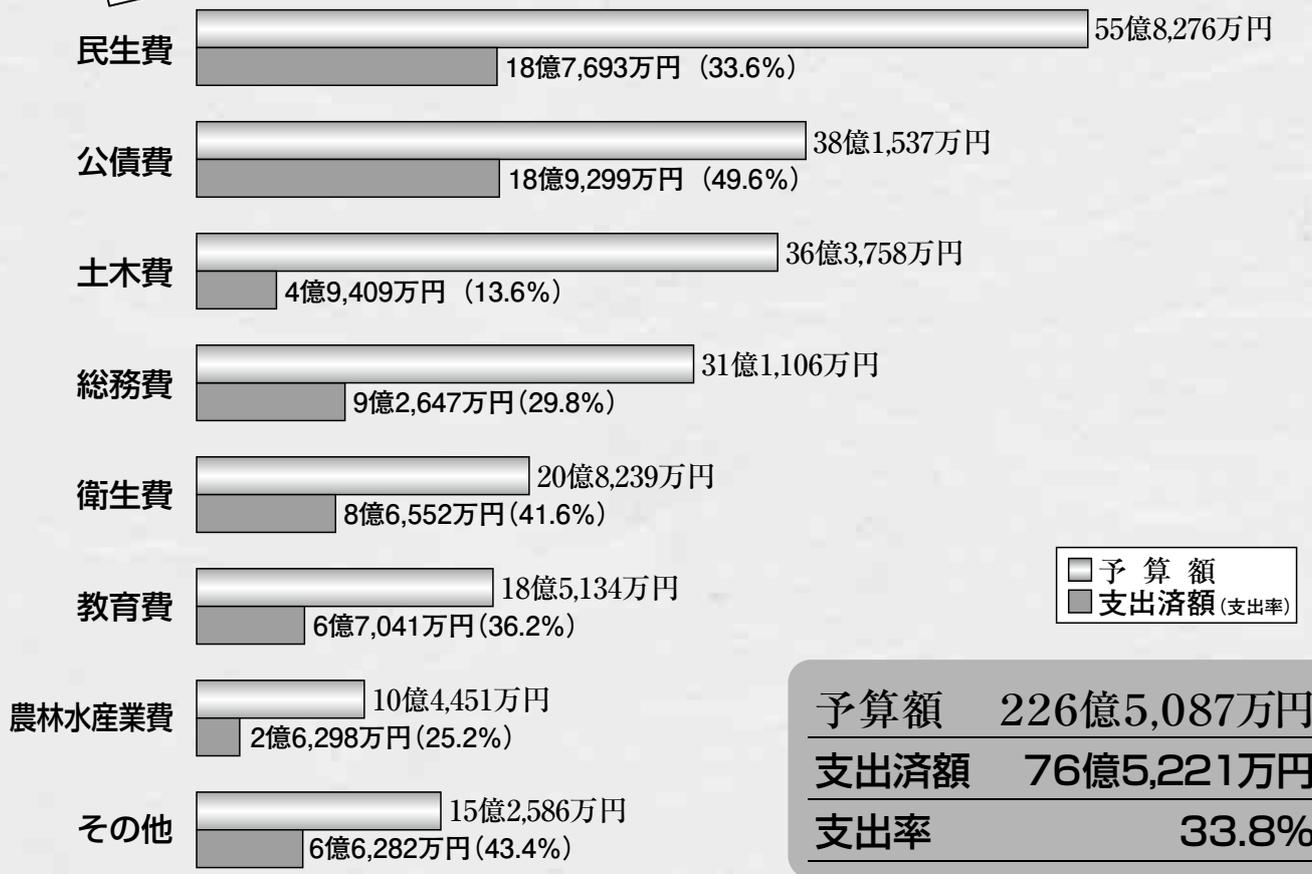
◆算出方法◆

市民(世帯)に使われるお金=総予算÷人口または世帯数
市民(世帯)が負担する税金=市税予算÷人口または世帯数

※人口 34,374人 世帯数 13,681世帯
(平成23年9月30日現在)

歳出

一般会計



特別会計

名称	予算額	収入済額	収入率	支出済額	支出率
国民健康保険事業	35億5,453万円	12億7,323万円	35.8%	14億2,892万円	40.2%
介護保険事業	31億3,860万円	12億 215万円	38.3%	12億9,343万円	41.2%
市営バス運行事業	5,144万円	1,093万円	21.2%	2,093万円	40.7%
簡易水道事業	6億7,260万円	2億1,375万円	31.8%	2億3,495万円	34.9%
下水道事業	27億 300万円	3億4,743万円	12.9%	11億 1万円	40.7%
土地取得事業	2億5,863万円	1,548万円	6.0%	1,341万円	5.2%
後期高齢者医療事業	4億5,122万円	1億3,137万円	29.1%	1億3,380万円	29.7%

TEL 財務課
 0771-68-0018
 【お問い合わせ先】

企業会計(上水道事業)

区分	収入予算額	収入済額	収入率	支出予算額	支出済額	支出率
収益的	4億3,430万円	2億1,784万円	50.2%	4億1,947万円	6,903万円	16.5%
資本的	8,381万円	685万円	8.2%	2億8,587万円	5,733万円	20.1%

行政 トピックス



身近なテレビが教室に変身

—なんたんテレビ学舎—
まなびや

11月23日から、「なんたんテレビ学舎」の放送を開始しました。

この番組は、南丹市内の中学3年生を対象に、家庭学習支援の一環として教育委員会が提供するもので、市立中学校の現任教員が講師として出演し、「国語」「数



▲数学の授業をする園部中学校の福西茂樹先生



▲テレビの収録をする英語担当の黄楊川先生

学」「英語」の3教科を、毎週水曜日午後9時から、各教科それぞれ5回程度のシリーズで放送。なお、CATVに未加入の家庭もあるため、各中学校にDVDを配布し活用を図ります。今回、英語の講座を担当された園部中学校の黄楊川淳先生は、「普段は生徒の顔を見て、反応を確かめながら進めますが、顔が見えないと授業を進める速さが適切かどうかかまいません。放送では、時間内に要点を的確に伝えられるようにしたい」と話されました。本年度は、試行的な取り組みですが、将来的には学校教育情報を家庭にお届けする番組として、内容をさらに充実する方向で考えています。

ことばの宝石、みつけた！

—「きらり・本のことば」
コンクール表彰式・記念講演—

11月27日、日吉町生涯学習センターで開催。市内の小・中学生が、読書活動の中で心に残った言葉とそれについての感想を文章や絵にして表現した合計240点の応募作品の中から、41人の児童・生徒を表彰。記念講演では、元NHKエグゼクティブアナウンサーの宮田修さんを招き、「話して伝える楽しさ苦しさ」と題して、自身の経験を踏まえ言葉の重みやコミュニケーションの大切さなどについて講演していただきました。



▲森教育長から表彰される児童・生徒



▲佐々木市長による防災対策の説明を聞く参加者（美山文化ホール）

生の声を聞いて市政に反映

—平成23年度市政懇談会—

11月1日から22日まで、市内12会場で開催。427人の方に参加いただきました。今年は、最もお伝えしたいこととして、市長から南丹市の原子力防災対策の取り組みについて、また教育長から学校教育環境整備等検討委員会などからの中間報告について説明を行ったのち、市民の皆さんの思いやまちづくりに対する考え方、地域の現状などについて、ご意見やご提案をいただきました。

なお、質疑回答の一部を次号広報なんたんで紹介します。

中高層建物での火災に備え 避難・救助・消火訓練実施

―平成23年度南丹市営住宅
園部向河原団地消防訓練―

秋季火災予防運動の一環として、11月6日、市営住宅園部向河原団地で消防訓練を実施。3階の一室から出火延焼したとの想定で、住民による通報や避難訓練のほか、園部消防署によるはしご車を使った救出や高所からの消火活動訓練が行われました。

また、屋内消火栓やAED、消火器の取り扱い訓練では小学生も積極的に参加。防火意識の高揚と初動対応の習熟が図られました。



▲逃げ遅れた住民の救助訓練をする消防署員



▲除雪車の説明を聞く宮島小学校の児童とみやま保育所の園児

これで雪が積もっても安心

―平成23年度南丹市・京丹波町
雪かき隊出動式―

12月2日、雪かき隊出動式を美山支所で開催しました。

毎年12月1日から翌年3月15日までの間、計画に基づき除雪作業を行います。冬本番を迎えるにあたり、地域の皆さんに除雪に対する理解を深めていただくとともに、作業に携わる方々を激励する催しとして開催したものです。式典にはロータリー除雪車などが並び、参加した宮島小学校の児童やみやま保育所の園児が、機械の説明を受けた後、試乗をしました。

高校生から楽しく英語学ぶ

―小・高連携事業 外国語活動
パートナーズスクール―

校種間連携事業として、10月26日に園部高等学校京都国際科2年生と八木・富本・新庄・吉富・神吉小学校の5・6年生が、英語で自己紹介やゲームを行い交流しました。中には一対一で丁寧に指導する高校生の姿も見られました。小学生はこれまで習った英語を活用し、初めて出会う高校生と一生懸命、コミュニケーションを図っていました。なお、11月7日には園部第二小学校の6年生も同様の英語交流を行いました。



▲留学生や高校生から丁寧な指導を受ける小学生



▲活動内容の表彰を受ける平屋小学校の児童

今後も交通安全にご協力を

―南丹船井交通安全大会―

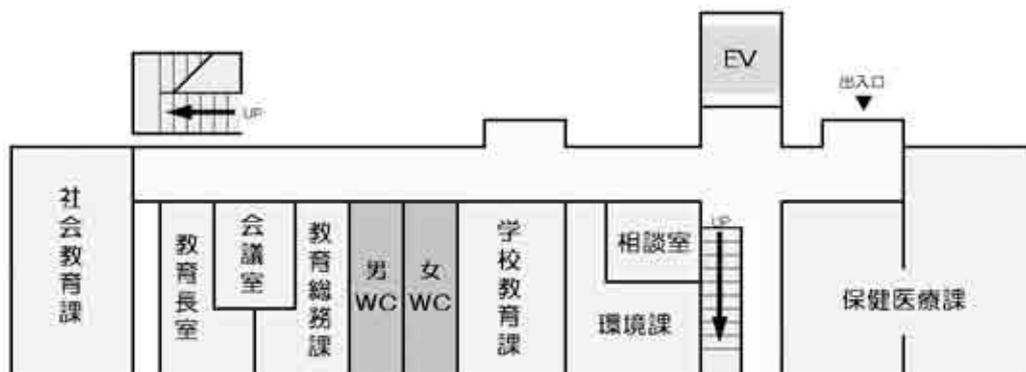
11月19日、京丹波町の道の駅「和」で開催。南丹船井交通安全協会の方々が、道の駅を訪れた方に、グッズを配布するなど、交通安全を呼び掛けました。記念式典では、15年間交通指導員として、月2回、小・中学生の登校時に交通指導をされている南丹市交通指導員会副会長の中島武男さんや、毎年全校児童対象の交通安全教室を開催し、登校時の見守り活動を地域ぐるみで行われている平屋小学校など、交通安全に貢献された方々が表彰されました。

福祉事務所の移転により 各フロアの配置が変更になりました



高齢の方や体の不自由な方にも利用いただきやすくするため、園部法務局の旧庁舎を福祉事務所（4号庁舎）として開設し、日常生活に関係する相談など、福祉を中心とした総合窓口として運用しています。また、福祉事務所の移転に伴い、教育委員会が2号庁舎へ移動しました。移動のあった各フロアの配置は次のとおりです。

2号庁舎1階



4号庁舎1階



4号庁舎2階



<お詫びと訂正> 広報なんたん10・11月号の記事に、次のとおり誤りがありました。お詫びして訂正します。

◇8ページ：「給与を公表します」左下の「(6) 職員手当の状況」の期末勤労手当の合計

(誤)	(正)
6月期合計:1.950 (1.950)	6月期合計:1.900 (1.900)
12月期合計:2.000 (2.000)	12月期合計:2.050 (2.050)

みんなで描こう

協働の キャンパス 8

皆さんこんにちは。地域振興課協働推進係です。
このコーナーでは、市民協働・市民参加に関する
さまざまな情報を皆さんにお届けします。今回は、
なんたんテレビで大活躍中の“学生リポーター”をご
紹介します。



南丹市市民提案型まちづくり活動支援交付金を活用し、「平屋地域での子育て支援活動」取材しました。地域で子育てっていいですね。とても温かくて、笑い声がいっぱい。みんなで食べると食事もおいしい、こんな取り組みがいろんなところで開催されたら、子どもたちだけでなく地域がもっと元気になりますよね。きっと！

学生リポーター
京都伝統工芸大学校

西久保 光

大活躍中です 学生リポーター

学生リポーターの取り組み

前回の広報紙で紹介したとおり、本市では「南丹市らしさ発見物語～市民協働のススメ～」と題し、市民提案型まちづくり活動支援交付金を活用して、さまざまなまちづくり事業に取り組む市民活動団体の方に、その楽しさや手法などをインタビューし、分かりやすくお伝えする番組を放映しています。放送日は、毎月第2木曜日から1週間です。

そこで現在活躍していただいているのが学生リポーターの皆さん。ご存知のとおり南丹市には、多くの学校が立地しており、「ものづくりのまち」だけでなく「学生のまち」としての側面を併せ持っています。そのような中で、学生の皆さんの目線を生かし、地域をさらに元気にするとともに、まちの特長を際立たせていくのが学生リポーターの取り組みです。現在3人のリポーターが活躍し、さまざまな取り組みに参加しながらレポートしていただいています。

幅広い世代の市民リポーターに活躍いただける場をつくります

市民提案型まちづくり活動支援交付金を活用し、取り組みを進める団体は年々増えています。

それぞれの団体が地域をよくするため、いろいろなアイデアを出し合う。そんな場がどんどん広がりを見せ、地域がますます元気になっています。今後は、学生の皆さんだけでなく、幅広く市民の皆さんに、それぞれの視点でレポートいただき、それぞれの視点でお伝えいただく。そんな機会づくりを積極的に進めていきたいと考えています。

市民参加と協働の推進に関することは 地域振興課 0771-68-0019まで

いきいき南丹

-47-

お元気ですか？
保健師です。



「お酒が体によい」ってホント!?

「心と体によいお酒の飲み方を知ろう」

お酒は、「百薬の長」といわれるように、適量ならリラックス効果や血流促進など心身ともによい効果を得ることができま

す。平成22年の南丹市の特定健診によると毎日飲酒する人は、男性44.4%、女性9.5%となっています。

■1回の飲酒量

一合未満	男性..30%	0%
	女性..18%	3%
一〜二合	男性..22%	9%
	女性..4%	0%
二〜三合	男性..12%	3%
	女性..1%	6%
三合以上	男性..2%	9%
	女性..0%	3%

市民の皆さんも、多くの方がお酒を飲まれることが分かります。しかし、飲み方には心と体によい飲み方と危険な飲み方があるのを知っていますか。次の3タイプに

該当する方は危険な飲み方をされています！

■危険な3つの飲み方

- ①お酒の量や飲む回数がだんだん増えている
- ②不安や憂うつな気持ちを紛らわせるために飲む
- ③眠るために就寝前にお酒を飲む

■どついつつ危険性があるの?

【①タイプ】
アルコールへの耐性が上がり、多く飲まないと酔うことができなくなっている状態。以前と同じように酔うために、より多くのお酒を飲んでしまいます。これを続けると肝臓や脳などに悪い影響を与えます。

【②タイプ】

アルコールは、ストレスなどから不安や憂うつな気持ちを和らげる作用がありますが、あくまで一時的なもの。酔いは思考の幅を狭め、よくない結論を招きかねません。

【③タイプ】

寝る前のお酒は寝つきをよくする一方、眠りが浅くなることから熟眠できず、不眠が悪化します。眠りづらいときは、専門医に相談しましょう。

■3つのタイプをよく見ると

実は、飲酒の悪習慣は、うつ病と深く関係しています。同時に、アルコールへの依存状態が心配されます。依存症は、本人の力だけでは回復が難しく、専門家の支援が必要です。一人で抱え込まずに、専門医や相談窓口で受診・相談してください。



■心と体によいお酒にするために

次のことを守りましょう

- ・週に2日は肝臓を休める日を作ります
- ・飲むときは何か食べたり、薄めたりしましょう
- ・適量を守り、時間を掛けてゆっくりと飲みましょう
- ・肝臓などの定期健診を受けましょう

1日の適量の目安

ビール	500ml
日本酒	1合
ワイン	180ml
ウイスキー	60ml
焼酎	110ml

- ・酒を飲んだ後は、酔いが覚めるまで運動や入浴はしないようにしましょう
- ・妊娠中と授乳期の飲酒は避けましょう（たとえ飲酒量が少なくても、アルコールは胎児の神経の発達に影響を与える場合があります）

年末年始は、お酒を飲む機会が増える時期です。人にも無理強いやせず、自分もペースと適量を守り楽しいお酒にしましょう。



私

は、30年ほど前に大
学病院で言語治療の
スタッフとして研修を受
けたことがあります。そ
の時私は、身長1mに満
たない一人の男の子のべ
ッドサイドに連れて行か
れ、「この子何歳やと思
う？まだ歩けないんや」
と教授に質問されました。
私は、見た目から、「1

歳半くらいですか」と答えると、
「そのぐらいに見えるやろ。だけ
ど、この子は4歳半なんや。虐待
を受けてたんや。人というのは身
を守るためには、成長も拒むこと
があるんや」とやりきれない表情
で話されたのを覚えています。

そ

れ以来私は、『子どもにはま
ず安心感の蓄積を』というこ
とを教育の方向性の一つにしてい
ます。子どもは、本能的に、「大
きくなりたい」、「賢くなりたい
」、「偉くなりたい」、「立派
になりたい」などといった思いを
持っています。しかし、成長が止
まってしまうほどの虐待を受けた
子どもや心の安心感が不十分な子
どもは、自己有用感や自己肯定感
などが非常に薄くなると考えられ
ます。また、それに伴い、人のこ

とまで思いやる余力もなくなるの
ではないでしょうか。

先日、私は八木中学校の研究発
表会に参加し、驚いたことがあり
ました。それは、全校生徒177
人による合唱でした。『全校合
唱』は簡単そうに思えますが、多
感な中学生、変声
期を迎えた生徒た
ち、縦社会を意識
しはじめ年代の
生徒が学級を超え、
学年を超えて心を一つにすること
は、とても大変なことです。

八

木中学校の生徒には、一人一
人が思いっきり声を出せる自
己肯定感や、ほかの生
徒の声と協調させなが
らハーモニーを奏でる
調整力などが備わって
いました。迫力ある歌
声とともに、自他を尊
重してはじめて見せら
れるその姿が私の心に
迫ってきて、とても感動しました。
神吉小学校の児童も卒業後、こ
の集団の中で思い切り自分をぶつ
けて欲しいと、心から願っていま
す。



(神吉小学校 校長

九笹 智資)

環・境・市・民

感激!

エコ発見

エコちゃん
—第23回—



森林は水源のかん養機能、
生態系の維持、地球温暖化防
止など多面的な機能を持ち、
人の生活になくはならない
役割を担っています。しかし
8割以上を森林が占める南丹
市にも、生活環境の変化や担
い手不足により手入れが行き
届かず、その役割が十分に果
たせない森林があります。



子どもた
ちの森での
活動を支援
する「森林
環境ネット
ワーク」を
主宰する用
澤さん。子
どものころ森で遊んだ体験を
生かし、多くの子どもたちに
森での遊びを通して、生きる
力を身に付けて欲しいと活動
を始められました。また近く

の里山の間伐や、つる払いな
ど実際に荒れた森の再生にも
力をそそいでおられます。

今回のエコジスト

用澤 修さん
(八木町船腰)



「私の家では、
薪ボイラーで給
湯したり、薪や
ペレットストー
ブを使ってエネルギーの中に
少しでも木質を使うように心
掛けています。個々の活動は
微力ながら一人でも多くの
人に森の現状を知ってもらいた
いと思っています。

今の生活は便利になりすぎ
ています。そこには便利さと
同じだけのマイナスの要素が
あり、さらにはイメージしき
れない何かがあるとも考えて
います。震災などで、今人間が
直面している現実を思うと、
この便利になりすぎた生活を
もう一度真剣に考え直さなけ
ればならないと思います。そ
して自然が昔から人間に与え
続けてくれた恵みに、多くの
人が気付かなければならないの
ではないでしょうか。(環境課)

南丹市立図書館

中央図書館 TEL (0771) 68-0080
八木図書室・日吉図書室・美山図書室
(休館日:毎週月曜日・祝日)

http://library.intra.city.nantan.kyoto.jp/

図書館へようこそ!

No.32



イメージキャラクター“なびっと”

「ときの辰」のもわすれて…」(11月10日、11日)
市内中学校の生徒さんが職場体験に来てくれました!

図書館業務は、目に見えているカウンター業務だけではなくありません。図書館に来られる方が、常に利用しやすく快適であるように、図書整理や環境整備も大切です。毎年11月の職業体験学習の中学生にも、そのことを学んでいただいています。

日吉図書室では、ブラウジングコーナー(閲覧スペース)の上部の壁に、スタッフがデザインしたその年の干支の絵を1年間飾ります。



▲干支の絵を作成する生徒の皆さん



▲完成した干支の絵

今年も環境整備の一つとして、殿田中学校、園部高等学校附属中学校の生徒の皆さんに、制作をしていただきました。生徒の皆さんは限られた時間の中で、一生懸命に取り組む、時の経つのも忘れて作業に集中し、完成させてくれました。

今年辰年です。この絵には、忙しい方も雲に腰掛け読書をしているこの竜のように、読書のひと時を持っていただきたいという願いを込めました。日吉図書室にお越しの際はぜひご覧ください。

暮らしとホッと

—第17回—
消費生活情報

「点検商法」に気を付けて!

「点検商法」とは、業者が「点検しに来ました」と突然訪問し、「屋根瓦がずれている」「シロアリの被害が出ている」「ダニがいる。こんな布団に寝ていると病気になる」など、事実とは異なることを告げ、不安にさせて商品やサービスを売りつけるのが特徴です。

主な商品やサービスは、屋根工事、住宅リフォーム工事、シロアリ駆除、布団の販売、浄水器の販売などです。

「消費者へのアドバイス」

■契約は慎重に!

その場で判断しないで、家族や信頼できる周囲の人に相談し、本当に必要か吟味してから契約しましょう。

■不要ならきっぱり断るこ!

業者に対して不審に感じたら、絶対家に入らず、インターホン

かドア越しにきっぱり断ってください。しつこく迫られたり、恐怖を感じるような態度をとられたら、警察に通報して対処してもらいましょう。

■契約しても諦めないで!

契約後、解約したくなった場合、8日以内なら無条件でクーリングオフできます。8日を過ぎている場合でも、条件によっては契約を解除できることがあります。まずは消費生活相談窓口にご連絡ください。

「トラブルに遭わないために」

■工事などが必要なきときは
複数の事業者から見積もりを取って選ぶようにしましょう。

■被害者は高齢者に多い

日頃から、家族や地域の見守りが大事です。成年後見制度を利用するのも、トラブルの未然防止や被害拡大防止になります。

—消費生活相談窓口—

- ・開設:火、金曜日
- ・時間:午前9時〜正午
午後1時〜4時

TEL 0771 (68) 0100

(商工観光課)



親子の笑顔が何より楽しみ!

～子育てサロン「ママハウス」～



▲みんなでクリスマスケーキを食べました

ママハウスでは、季節に応じたサロンも開催します。12月1日には、32人の参加者を迎え「クリスマス会」を開催。おもちゃで遊んでいた子どもたちも、お母さんたちの「片付けよか!」の一言で、しっかり片付けをしました。みんなでクリームたっぷりのケーキを食べ、わいわい!がやがや!楽しくクリスマスをお祝いました。

【ママハウスの約束ごと】

- ・ 少なくとも月1回は参加してください。
 - ・ 会場の準備、片付けはみんなでしましょう。
 - ・ サロン内で出た個人情報、外で話さないようにしましょう。 など
- ※お父さんも参加していただけます。詳細はお問い合わせください。

メンバー募集中

4人で活動してるママハウスでは、一緒に活動していただけるメンバーを募集しています。興味をお持ちの方は、下記にご連絡ください。季節ごとに、いろんな企画をし、一緒に楽しいサロンを運営しましょう。

社会福祉協議会
日吉支所
TEL : 0771-72-0947

ママハウスは、平成13年に結成され、子育て中の親を支援することを目的に活動されています。現在は、育児不安や仕事をしながらの育児によるストレスなどの相談を行うほか、親同士の仲間作りや情報交換の場として月2回(第1、3木曜日)、殿田交流センターで子育てサロンを開催しております。最初は親子2、3組から始まったサロンですが、今では参加者も日吉地域全域に広がり、屋外サロンなど、多い日は子どもも含めて30人の参加者があります。メンバーは4人と少ないので、準備はサロンの参加者と一緒に行います。参加者も、使わなくなった子どもの遊び道具を提供するなど、サロ



▲サロン参加者にお菓子を配るママハウスのメンバー

運営に協力的。また、着なくなった服を交換するなど、サロンを積極的に活用されています。11月17日には、新しい参加者を2組迎え、

楽しい時間を過ごしました。メンバーの岩田さんは「子どもから元氣をもらえるし、私も子どもの成長を見るのが何より楽しみ。中には子どもがお腹の中にいるときから参加してくださっている方もいるんですよ」とやりがいを語ってくださいました。参加者は「親だけでは時間が作れないので、とても感謝しています。友達も増えて、とても楽しい時間を過ごしています」と語ってくださいました。

サロンで元氣よく遊ぶ子どもたち、また子育ての苦勞を分かち合う親を見守るママハウスのメンバーからは、優しい笑顔が溢れていました。皆さんも気軽にサロンに参加し、リラククスしませんか。

第12回目を迎えたワンデーマーチ。東京や長崎からの参加者など、前回は上回る約680人が参加されました。コースは、美しい日本の歩きたくなるコース100選選定コース(18km:北かやぶきの里コース)とファミリー向けの全国遊歩100選選定コース(12km:大野ダム周辺)。親子連れや各地の歩こう会などが参加され、今回は、若い方の参加が目立ちました。府外から初参加のご夫婦は、元気に18kmを歩き、「心落ち着く綺麗な場所で、歩きが良かった。来年も参加したい」とゴールの感想を話してくださいました。



▲美山太鼓に応援されスタートする参加者

「美山・晴天の秋空の下をテクテク」

(11/3 第12回美山かやぶきの里ワンデーマーチ)

「大人、子ども満喫 ふるさと秋の1日」

(11/3 美山ふるさと祭)



▲市民参加ステージの演奏に聞き入る参加者

ワンデーマーチ会場の隣りでは美山ふるさと祭を開催。販売コーナーでは鹿肉加工料理や栃餅など美山の特産品や旬の食材がところ狭しと並び、農林産物品評会や即売会も行われました。ステージでは、市内の小・中学生が府内産木材で作成した木工作品の作品展「府内産材もくもくコンクール」における優秀作品の表彰や、市民の皆さんによる発表や漫才コンピ「千鳥」のお笑いショー、自転車スタンプラリーなど多彩なイベントが行われ、美山の秋を満喫する多くの方でにぎわいました。

みんなのひろば

まちの話題を紹介します



▲ステージ上で京都八木よさこいの皆さんと一緒に踊る観客

毎年恒例のひよし水の杜フェスタがスプリングパークで開催されました。日吉の新鮮野菜や加工品などを販売する模擬店や、リサイクルマーケットなどが並び、来場者は買い物袋を両手に店を巡り歩いていました。またステージ発表では、保育園児による太鼓演奏や吉本芸人による爆笑漫才、京都八木よさこいによるダンスなどが開催され、観客が舞台上がって参加する場面もありました。

アトラクションの「ふわふわ」で遊ぶ子どもたちやシートを広げて休んだりする家族連れなどでにぎわい、会場は、終始秋の一日を楽しむ人々でいっぱいでした。



▲模擬店を巡り買い物を楽しむ来場者

「日吉ダムを眺めながら秋を満喫」

(10/23 ひよし水の杜フェスタ)



▲JR日吉駅前のごみ拾いをする殿田中学校の生徒

殿田中学校の全校生徒、全職員約170人が地域への感謝の気持ちを込めて清掃活動を実施。胡麻郷小学校、殿田小学校、JR胡麻駅、JR日吉駅および殿田中学校の周辺で2時間程度、ぞうきんで窓ガラスを拭いたり、道路や施設周辺のごみを拾ったりしました。生徒たちは協力しながら活動し、地域の方に「ありがとう」と温かい言葉を掛けてもらっていました。また殿田中学校では、春に地域の施設や場所などを飾るため、花を植えて準備しています。

(11/18) 生徒会ボランティア活動《殿田中学校》

「地域に『ありがとう』の気持ち込め

「全力を出し切ってたすきを繋ぐ」

晴天のもと、NPO法人八木町スポーツ協会主催の29回目を迎える伝統の駅伝大会が行われました。8グループ48人が参加者し、秋色に染まった町内を走りタイムを競い合いました。コースは、八木運動公園から始まる、吉富小学校、新庄小学校、日置公民館、氷所集荷場、東部文化センターの町内6区間・16.6km。参加者は、住民の声援を受けながら、各自の区間を全力で駆け抜け、「頑張れ」などと大きな声で次の走者を送り出していました。

(11/13) 第29回南丹市八木駅伝競走大会



▲全力で駆け抜けた仲間からたすきを受け取る走者

つな

「地域と大学のつながりを大切に」



▲ステージ発表で演奏する園部吹奏楽団

佛教大学開学100周年記念イベントの一環として、地域住民との交流を目的とした「感謝・ありがとう祭典『園部キャンパス祭り』」が同大学園部キャンパスで開催されました。ステージ発表や模擬店のほか、落語や講演も行われ、多くの方々にぎわっていました。山極伸之学長は開会式で、「地域の支えがあってこそこの100年。地域と大学がしっかり手をつないで、人材育成などを進めていきたい」とあいさつされました。

(12/3) 佛教大学開学100周年記念イベント

「収穫の秋に感謝！美山楽農祭り」

美山町自然文化村で、地元の新鮮野菜やおばんざいなどを販売する出店や木の枝でクリスマスツリーなどをつくる手づくり体験コーナーなど多くの催しが行われ、市内外の多くの方が収穫の秋を楽しみました。ステージでは、「美山牛乳早飲み競争」や、美山米や地元野菜の重さを当てる「目方でぴたり」などのユニークな催しも多く、笑い声が会場いっぱいに響き渡っていました。毎年恒例の豪華賞品が当たる「豪華福引大会」では、番号が読まれるたびに、期待する参加者から歓声が上がっていました。

(11/23) 楽農祭り



▲大勢の人でにぎわう「豪華福引大会」

ニュースダイジェスト

— 広報なんたん 2011 —

平成23年の南丹市1年間の主な出来事をカレンダーにして振り返りました。

さて、南丹市はどんな1年を歩んできたのでしょうか。

- 1日 南丹市消防団入退団式
南丹市デマンドバス実証実験運行開始
日吉・美山地域で実施。市営バスが走っていなかったり、少ない地域の公共交通手段として運行を開始しました。
- 1日～24日
京都伝統工芸職人展「用の美の空間2011」
(国民文化祭200日前記念イベント)
- 10日 京都府議会議員一般選挙
17日 京都府消防協会南丹船井支部教育訓練
19日 京都府るり溪少年自然の家「60万人利用・屋外炊飯場竣工」記念式典
20日 ラポールもろはた竣工式
23日 園部まごころステーション陽だまり開所式
社会福祉法人「京都太陽の園」が開設。障がいのある方の地域活動・就労などの支援を行っています。

5月

- 10日 心と身体の癒しの森るり溪温泉10周年記念式典
南丹船井交通安全協会南丹支部総会
22日 第2回仁清まつり(国民文化祭150日前記念イベント)
南丹市美山町北重要伝統的建造物群保存地区における放水銃の一斉放水訓練(美山かやぶきの里一斉放水)
29日 2011美山サイクルロード

6月

- 1日 南丹市防災パトロール
2日 南丹市教育の在り方懇話会
今後10年間の教育のあり方、目指す教育像などについて議論。また、急激な少子化を背景とした学校教育環境について検討を行う「学校教育環境整備等検討委員会」と学校給食について検討する「学校給食在り方検討委員会」も同時に設置しました。

1月

- 9日 南丹市消防団出初式
南丹市成人式
新成人314人の出席のもと、園部公民館で20歳の門出を祝いました。
※対象者:429人
・園部:224人
・八木:91人
・日吉:65人
・美山:49人
- 
- 29日 南丹市制5周年記念式典
約330人が参加し、園部公民館で市制5周年を祝いました。式典では、自治功労者などを表彰したほか、程一彦さんをお招きし、講演会を開催しました。
- 30日 大堰川ジョギング大会

2月

- 2日 南丹地区農用地総合整備事業完工式
19日 第5回美山フォーラム美山の魅力と可能性V
27日 南丹市スポーツ・文化賞表彰式典
市内のスポーツおよび文化の振興・発展に貢献された13団体と91人の皆さんを表彰しました。

3月

- 15日 東日本大震災被災地支援活動開始
26日 一般国道477号東郷バイパス開通式典

4月

- 1日 市役所組織再編を実施
市民の利便性を高め、市民ニーズに的確に応え効果的、効率的な事務執行ができる体制を確保するために実施。新たに「地域振興課」、「交通対策室」、「保健医療課」を設置。「市民部」と「福祉部」を統合し、「市民福祉部」を設置。企画管理部と総合政策室を統合し、「企画政策部」を設置しました。

10月

- 1日 道の駅スプリングスひよしオープンセレモニー
南丹市3番目となる道の駅としてオープンしました。
- 2日 南丹市総合防災訓練
大規模地震を想定し、市民やボランティア、消防団、その他関係機関の皆さんに参加していただき、防災訓練を実施しました。
- 12日 ひとり暮らし高齢者の集い
- 15日 第6回なんたんビートフェスティバル
- 20日 南丹市戦没者追悼式
- 23日 ひよし水の杜フェスタ2011
- 29日～11月6日 第26回国民文化祭・京都2011
京都府内の各地でさまざまな催しが開催。南丹市では、「ものづくり」をテーマに、南丹市ならではのイベントを開催し、市内外から11,250の方が訪れました。(詳細は今号の特集をご覧ください)
- 30日 南丹☆学生の祭典2011

11月

- 1日～22日 平成23年度市政懇談会
市内12会場で懇談会を開催。市民の皆さんとまちづくりに対する考えや思いについて意見交換を行いました。
- 3日 第12回美山かやぶきの里ワンデーマーチ
美山ふるさと祭
- 19日 大野ダム50周年記念式典
第23回大野ダムもみじ祭り
- 23日 南丹市美山町北重要伝統的建造物群保存地区における放水銃の一斉放水訓練(美山かやぶきの里一斉放水)
なんたんテレビ学舎(まなびや)放送開始
- 26日 南丹市青少年すこやかフォーラム
- 27日 きらり・本のことばコンクール



12月

- 3日 佛教大学開学100周年記念イベント感謝・ありがとう祭典「園部キャンパス祭り」
- 23日 南丹市婚活イベント -Xmas“恋鍋”party in 美山-
- 28日～29日 南丹市消防団年末警戒

- 24日 テレビ大阪地デジ放送スタート
「テレビ大阪」の地上デジタル放送が、7chでご覧いただけるようになりました。
- 26日 第5回南丹市男女共同参画フォーラム「キラリなんたん!」

7月

- 11日 EPZ圏域拡大に伴う美山町区長会説明会
- 16日 財団法人園部農業公社15周年記念式典
- 17日 ひよし夏祭り2011
- 17日～18日 道の駅「京都新光悦村」
8周年記念感謝祭
- 23日 南丹ものづくり体験村～つくるって、おもしろい!～
国民文化祭100日前記念イベントとして、南丹市国際交流会館で開催。ものづくりをはじめ、さまざまなコーナーが準備され、会場は作品づくりに打ち込む子どもたちでにぎわいました。

8月

- 6日 南丹そのべ夏祭り
- 14日 第65回南丹市「やぎの花火大会」
南丹市の夏の最大のイベント。今回は、八木小学校の児童が作成した東日本大震災復興を応援する大灯ろうが流されました。また、復興支援のために集められた53万270円が義援金として寄付されました。
- 15日 第28回清流美山の鮎まつり
- 25日 平成23年度南丹市優良建設工事表彰式
第1回南丹市子どもの主張大会
ことばの力の育成を目指し、今年度からスタート。市内の各小・中学校から推薦された児童・生徒21人が、自分のことばで堂々と主張しました。
- 26日 平成台販売促進会議(市有地等販売促進事業に関する協定の締結:5社)



9月

- 17日 第11回美山能楽の夕べ「美山かやぶき新能」
スプリングスひよし温泉・プール入場者300万人突破
- 18日～19日 星をもとめて
- 24日～25日 販売促進イベント「平成台秋祭り」
- 27日 集落支援員キックオフ研修会

なんたんミュージアム

-30-

―南丹市立平屋小学校―

※担任の先生、担当教科の先生の講評を掲載しています。

「平屋大運動会」

都築 輝流さん（1年）



▶運動会で踊っている一生懸命な姿が描かれています。

「ひとり乗りができたよ！一輪車」

村上 愛衣さん（3年）



▶バランスよく一輪車に乗っている姿がしっかりと描かれています。

「いもほり」

戸嶋 理姿さん（2年）



▶あたまがすこし見えたサツマイモを、がんばってほろうとしている様子がわかります。

「自然の植物」

近澤 ちづるさん（5年）



▲ステンシル版画の効果を生かし、鳥や植物の色を工夫して表せています。

編集後記

記事作成には、まず自分が書くことについて知ることが大切。ペンが止まるたびに勉強不足を痛感します。

私が手掛けた4号目の広報なんたん。記念すべき50号。今回も多くの皆さんにお世話になり発行できました。（F）

△お詫びと訂正△

広報なんたん10・11月号の記事に次のおり誤りがありました。お詫びして訂正します。
◇26ページ…わが家のアイドルの男の子の名前
誤) 山名 永紘くん
正) 山名 永紘くん



市の花 さくら



市の木 ふな



市の鳥 オオルリ

森・里・街がきらめくふるさと 南丹市

なんたんし



●総人口：34,352人(-2)
(男：16,514人・女：17,838人)
(-5) (+3)
●世帯数：13,685世帯(+5)
(平成23年12月1日現在)
()内は前月比



わが家の★
アイドル

●八木町 かた やま
片山 夢月ちゃん(8歳)
片山 夢奈ちゃん(6歳)
片山 夢大くん(2歳)

「これからも笑顔いっぱい元気に大きくなってね。」
(父・母より)

写真掲載の応募をお待ちしています。(応募数によっては順番待ちになることがあります) 詳しくは企画調整課秘書広報係まで

広報
なんたん

編集・発行：南丹市役所 企画政策部企画調整課
〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

TEL:0771-68-0008 FAX:0771-63-0653
URL:http://www.city.nantan.kyoto.jp
e-mail:kikaku@city.nantan.kyoto.jp



本紙は環境への配慮から、水なし印刷、ベジタブルインク(植物油)を採用しています。